

令和4年度 年間授業計画

都立田無工業高等学校

教科・科目		工業 応用機械実習		単位数	2
対象学年・組		3学年機械科	教科担任	MA:井手・堀 MB:井手・堀	
教科書・副教材		新版 機械実習1・2 新版機械実習1・2			
1. 目標 ・1、2学年時の実習で習得した知識と技術を生かし、機械加工の技能・技術を習得する。 ・MA・MBの2クラスを2班編成とし、下記テーマをそれぞれローテーションして実施する。 ・板金加工・木工加工・サンドブラスト加工等を実施する。					
2. 学習内容と学習上の留意点					
学期	月	単 元	指導内容・指導目標		予定時数
1 学 期	4	1・クラフト 2・サンドブラスト加工	オリエンテーション 加工作業導入について		6
	5	1・クラフト 2・サンドブラスト加工	各加工による作品の製作		8
	6	1・クラフト 2・サンドブラスト加工	各加工による作品の製作		10
	7	1・クラフト 2・サンドブラスト加工	各加工による作品の製作		8
	1学期授業時数計				32
2 学 期	9	1・クラフト 2・サンドブラスト加工	各加工による作品の製作		8
	10	1・クラフト 2・サンドブラスト加工	各加工による作品の製作		8
	11	1・クラフト 2・サンドブラスト加工	各加工による作品の製作		8
	12	1・クラフト 2・サンドブラスト加工	各加工による作品の製作		8
	2学期授業時数計				32
3 学 期	1	1・クラフト 2・サンドブラスト加工	各加工による作品の製作		6
	2				
	3				
	3学期授業時数計				6
年間授業時数合計					70
3. 評価の観点・方法 ①学期ごとに提出すべき報告書を期限までに完成させ、提出すること。 ②各実習の作品を完成させること。 ③平常点（授業取り組み姿勢・授業態度、報告書の提出状況） 上記①②③について項目ごとに評価し、年間に実施するすべての項目の平均評定を基に判断し、5段階評価する。 注 本校の実習系科目は限られた授業内で製品の完成を目指すものであり、技能の要素を取り出したものではない。そのため、レポートの提出と製品の完成をもって、総合的な評価を行う。					